

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-1																																						
PDCA	主要事業名	音楽のあるまちづくり事業	部課名	教育部生涯学習課	担当	赤坂																																						
					内線	23-7341																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と伝承 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 11,094 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.01.05.50																																											
	事業概要等	事業概要： 令和2年8月26日付で公益社団法人セントラル愛知交響楽団と締結した「半田市音楽文化振興に関する協定」に基づく事業を始め、音楽のあるまちづくりを推進するための各種音楽関連事業を実施する。																																										
		事業目的： 新たな音楽文化の創造や醸成を促し、ひとづくりやまちづくりにつなげていくとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与する。																																										
		事業内容： セントラル愛知との協定事業（公演事業、小・中・幼・保等でのアウトリーチ・ワークショップ等）の他、多種多様なジャンルの公演等																																										
	問題点・課題等： 長期的に継続しなければ効果ははかりにくい事業ではあるが、事業を継続するとともにその効果を把握するよう努める必要がある。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																										
	11,094 千円	市民への質の高い音楽文化の提供を通じて、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現を目指すため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 7,259 千円	新たな音楽文化の創造や醸成が促され、ひとづくりやまちづくりにつながり、心豊かな市民生活と活力ある地域社会が実現する。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度</td> <td>実績値</td> <td>80.1</td> <td>71.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度</td> <td>実績値</td> <td>93.1</td> <td>88.3</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>86.0</td> <td>90.0</td> <td>90.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値	80.1	71.0	—	%	目標値	80.0	80.0	80.0	%	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値	93.1	88.3	—	%	目標値	86.0	90.0	90.0	%	その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値	80.1	71.0	—	%																																							
	目標値	80.0	80.0	80.0	%																																							
音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値	93.1	88.3	—	%																																							
	目標値	86.0	90.0	90.0	%																																							
その他	実績値																																											
	目標値																																											
県費 0 千円																																												
3,835 千円																																												
D 実績値	決算額	得られた成果																																										
	11,047 千円	セントラル愛知交響楽団との協定に基づく委託事業について、固定ファンをもつ従前事業の継続実施から、普段音楽になじみのない、本格コンサートに参加し難い層をターゲットとした事業への転換を図った他、セントラルとの協定に基づく事業以外の事業においても、こうした層の獲得を意識した内容の事業展開を図った結果、認知度・満足度ともに目標値を大きく下回る結果となった。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度</td> <td>実績値</td> <td>60.8</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度</td> <td>実績値</td> <td>78.9</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>90.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値	60.8	%	目標値	80.0	%	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値	78.9	%	目標値	90.0	%																				
	成果指標		令和5年度	単位																																								
	音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の認知度	実績値	60.8	%																																								
目標値		80.0	%																																									
音楽のあるまちづくり事業（音楽文化振興事業）の満足度	実績値	78.9	%																																									
	目標値	90.0	%																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 音楽のあるまちづくり事業に多く参加し、成果指標の認知度や満足度の高さを押し上げていた固定ファン向けのイベントから、半田市文化芸術推進計画の基本目標「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられるまち」づくりを特に意識した、未就学児も含めた親子で参加できるイベントへの転換を図った。また、生涯学習課独自のSNSを立ち上げるなどイベント情報等の発信にも力を入れ、幅広い層に情報が行き届くような工夫も積極的に行った。それによりこれまでこうした事業になじみがない、参加し難かった層の参加につながったが、その方々からの認知度や満足度の評価を受けたことで、前年度や目標値を下回る結果となった。しかし、成果指標の目標数値に直接プラス反映されない未就学児やその保護者・家族など新たな層の掘り起こしを図ることができた点やその層も含めた幅広い層に的確な情報提供につなげることができた点などは前向きな評価として捉えている。																																										
A 今後の課題の方向性	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 新しく取り組む事業だけでなく、従前から行う事業もテーマの設定や実施方法を見直し未就学児も含めた親子で参加できるイベントへと模様替えをしていき、「子どもの頃に多様な文化芸術に触れられる」機会のさらなる充実を図る。また、こうした視点に加えて、「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に文化芸術事業に触れられるよう、市内の音楽関係者等と連携を図りながら、文化施設内ばかりではなく「まちなか」での事業展開にも力を入れていく。																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更																																					
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																									

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）